

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラスルームなないろ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・自閉症の学習スタイルに合わせた発達支援	・フォーマルアセスメントの他、日常的なインフォーマルアセスメントを大切にし、実証されている介入方略を組み合わせて支援プログラムを組んでいる。	・研修等へ参加し、知識や技術のブラッシュアップに努める。
2	・家庭や関係機関との協働	・利用時の報告、面談、電話、メール、連絡ノート等を通して随時相談に応じている。 ・般化を意識し、お子さんへの関わりや対応について助言。必要に応じて支援ツールを作成し、提供。	・ご家庭によって相談しやすい環境や媒体が異なるため、できる限りご要望に合わせて対応していく。 ・お子さんの自閉症の学習スタイルや発達課題を共通認識できるように、今後も情報共有を密にしていく。 ・ご要望があれば家庭訪問し、それぞれの家庭環境に合わせた構造化や対応方法について助言をする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・アプリやSNS等を活用しておらず、保護者とのやりとりが紙ベース。	・ホームページはあるが、あまり更新できていない。また、個人情報等の観点からホームページにはお子さんの写真はあまり使わず、全体的なお知らせが中心。	・アプリやSNS等に関しては今すぐの導入は考えていないが、できる限りお子さんの活動の様子や支援状況を保護者と共有できるように、写真や動画を活用する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 クラスルームなないろ

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 10

回収数 10

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10			・いろいろなエリアがあり、子どもも楽しんで活動している。 ・丁度良い広さだと思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			・先生がお一人増えて、より安心です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			・掲示物や衝立などの使用で配慮されています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			・整頓されていて何をやる場所なのか分かりやすいと思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			・子どもの特性をよく見て下さり、その子に合わせた対応をしてくれています。 ・子どもの性格・特性のことを丁寧に理解していただいています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			・計画に沿って毎回実施されていると感じます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10			・日々の相談事が随時計画に反映されていると感じます。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			・毎回具体的に設定されています。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			・計画通りかと思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			・季節の行事をふまえた活動も多く、楽しみにしています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10			・分かりやすく説明していただきました。	
	12	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			・照らし合わせて説明していただきました。	
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10			・ペアトレを紹介していただいて本当に良かったです。	
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10			・利用の度に丁寧に保護者と伝達の時間を作ってもらってありがたいです。 ・いつも子どもの利用中の様子が浮かぶように情報共有していただいています。	・毎回利用時に報告・相談の時間を設けている他、電話やメール、連絡ノート等も活用しながらご家庭との情報共有に努めています。お子さんの活動の様子や支援状況についても、その都度写真や動画、支援ツールをお見せしたり、定期的に写真を配布したりして共通認識が持てるようにしています。
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10			・毎回必要に応じていろいろ支援してもらい助かっています。	
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			・先生方とお話するといつも救われています。	
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9		1	・家族も支援していただいていると感じます。	・保護者会や茶話会は年に数回企画しております。ご希望のテーマなどがありましたらいつでもお声がけください。きょうだい児向けのイベント等は予定しておりませんが、きょうだい児へのサポートについては随時ご相談をお受けしています。

	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10				・ミーティング時や必要時に周知されていると思います。	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				・連絡ノートに図などを含め細やかに書いていただき、写真も見せていただけるのが嬉しいです。	
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1			・普段の利用に関しては充分情報があるが、HP等をあまり見ないので判断が付きません。	・ホームページにて自己評価の結果やお知らせ等を発信しております。また、必要に応じて書類の配布、玄関への掲示、連絡ノート等を通して情報発信しております。
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				・適切だと思います。	
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10				・玄関の掲示物やファイリングされた資料が分かりやすいです。	・各種マニュアルに関しては、契約時にご説明している他、いつでもご覧いただけるように玄関にも設置しております。
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10				・定期的に訓練していただいて安心です。	・年に数回、地震・火災・水害等を想定した避難訓練を実施しております。利用曜日、時間ごとに全員が参加できるように計画を立てています。
	24	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				・必要時には事前に周知されていると思います。	
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10				・普段から小さな変化等についてもすぐ教えていただけるので安心です。	
満足度	26	安心感をもって通所していますか。	10				・なないろのことが好きで、家でもよく会話や遊びの中に出できます。 ・以前は連休明けに不安を訴えることもありましたが、最近は先生方やお友達と会えるのを楽しみに通所しています。	・温かいご意見ありがとうございます。今後も家庭と協働しながらお子さんの成長に寄り添っていきたいと思います。
	27	支援を受けることで、お子さんの変化や成長を感じますか。	10				・とても感じています!! ・支援を受ける前と比べて、とても成長したと感ずることが多いです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	クラスルームなないろ		公表日 令和8年3月31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・ ASDの特性・学習スタイルに合わせて環境設定をしている。 ・ 個々の特性に応じた構造化がされている。 ・ 玄関内はスロープになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・ 少人数での受け入れ。個別活動に合わせたエリア設定になっている。 ・ 毎日掃除をし、環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・ 利用者の状態に合わせて個別に対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・ その都度話し合いを設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ 評価を基に改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ 会議の他、日頃から話し合いをして改善できるよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・ 今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・ 法人内・外ともに、職員が希望する研修には参加できるようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ 全職員で話し合い、作成・公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・ 発達レベル・適応行動・ASDの学習スタイルのアセスメントを実施し、保護者のニーズとすり合わせて計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・ 児発管・心理担当・主任・ケース担当で多職種の視点を持ち話し合っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・ 現場でいつでも見られるようにファイリングしている。 ・ 全職員間で共有されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・ フォーマルアセスメント及び日常的にインフォーマルアセスメントを行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・ 項目ごとに細かく目標設定し、具体的に支援内容を設定している。 ・ ASDの特性に合わせた支援計画も設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・ 職員全員で話し合いをしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・ 発達レベル・認知レベル・社会性のレベル	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		に合わせてプログラムを組んでいる。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎朝打ち合わせの時間を設けて周知・確認している。 ・毎日支援開始前に打ち合わせをしている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・支援後その都度行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・記録として連絡ノートを活用し、保護者と共有している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・モニタリングの時期以外でも本人の成長・発達段階に合わせて見直ししている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・定期的に訪問したり連絡をして情報共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・12月頃から学校とは連絡をとりあっている。保護者や本人の見学・体験等も情報共有しながら行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5			・全員保育園や幼稚園・こども園に通っており、園で交流しているので事業所としては設定していない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・利用日及び利用日以外でも、状況に応じて電話やメール等を活用して随時連絡を取り合い、相談に応じている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			・外部で行われているペアトレ等の研修を紹介している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・契約時に説明している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5					
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			・計画作成時、モニタリング時期に定期的に面談を行い、同意を得ている。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・定期的な面談の他、毎回の利用時の報告や電話、メール、連絡ノートを通して随時相談をお受けしている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・保護者会や茶話会については年に数回実施している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・随時速やかに行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	2	・保護者に向けて活動の動画を見せたり、定期的に写真を配布している。HP・SNSへの子どもの写真を載せるのは、個人情報の関係で控えている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・アンケートと同意書に基づき実施している。その他、必要なことは随時確認している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・日々の報告や連絡ノートの他、電話やメール、オンライン等も活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・行事への招待はないが、近隣の道路の除雪をしたり、掲示板を設置したりしている。	・今後検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・定期的に避難訓練を実施している。 ・全員が参加できるように曜日や時間帯ごとに訓練を計画している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・保護者同意のもと、緊急時の薬を事業所内で管理している。対応方法等についても文書化して保護者と共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・保護者に確認している。事業所からの食事提供はしておらず、おやつも家庭から持参していただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・研修や避難訓練を実施している。また、遊具や建物内外に危険箇所がないか、項目に基づいて定期的に点検している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・計画策定時に説明している他、いつでも閲覧できるよう玄関にも設置している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・事業所内での研修は年に数回実施し、外部研修にも参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・必要なお子さんには支援計画に記載し、保護者の同意を得ている。		